



24年 4月 1日

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2013年4月30日】

団体名 社会福祉法人 天使園

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト

東京都専門機能強化型児童養護施設 精神科医等専門職員の配置事業

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

児童養護施設に精神科医師・治療指導担当職員を配置し治療的・専門的ケアが実施出来る体制を付加し、また、ユニットケア形態で運営を行っている施設に対しては個別ケア職員を配置し、個別ケアの充実を図ることを目的とした専門機能強化型児童養護施設制度における精神科医等専門職員の配置事業。

3. プロジェクトの内容

- ・虐待等により様々な情緒・行動上の問題を抱える子ども等への心理治療
- ・個別のカウンセリングを中心とした心理治療
- ・生活場面における心理治療
- ・月4回のケースカンファレンスへの参加、スーパービジョン
- ・児童との面接、医療機関の紹介
- ・職員のメンタルヘルス

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果

生活集団を小規模化した家庭的養護の充実を図ること、個別ケースの的確な課題の把握と、専門的支援をするための職員の個別ケア能力の向上、自立支援対策の充実、さらに地域の子育て支援への取り組みや、里親への支援、児童相談所等との連携による家族再統合の試み等、広くトータルなソーシャルワークを目指す事業であり、1年間の事業実施により児童に多大な効果が図られた。

5. 全体的所感、終了しての感想など

東京都専門機能強化型児童養護施設の認可を受け、事業を実施しているものの補助金の上限が定められており、不足分に関しては、各施設の自己負担となっており、人件費に占める割合が決して少なくないのが現状であり、負担軽減の一助となった。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特に㊦し